

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成30年 7月 3日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 オートワークス京都 代表取締役 青地 潔

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	環境管理マニュアル（ISO14001:2015/JIS Q 14001:2015）
適 用 範 囲	株式会社 オートワークス京都（宇治市大久保町に所在する地域）
導 入 年 月 日	1998年 1月 22日
認 証 番 号	JAERO022（最新発行日:2018.2.8、発行番号:0022F）
基 本 方 針	環境保全に対する重要性を認識し、人・社会・自然にやさしい車両及び特装车づくりに努め、地球環境の保全と豊かな社会の発展に貢献します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	日産グリーンプログラム(NGP)に準じた活動を推進 具体的には、5項目の主要指標を管理 1. CO2排出量削減：BAU比2%削減 2. 廃棄物の削減：BAU比2%削減 3. VOC排出量削減：BAU比0.2%削減 4. 水使用量削減：H30年度からBAU比2%削減のための準備活動 5. 環境事故撲滅：外部流出:ゼロ、内部流出:再発ゼロ
目標を達成するための取組の内容	1. CO2削減(省エネ活動) ①ユーティリティ設備の有効的な運用 ②塗装オープン等の運転時間適正管理 ③エアリーク等のタイムリーな改善 ④冷暖房温度設定の徹底 2. 廃棄物の削減:4R活動の徹底とリサイクルの拡大 3. 洗浄シンナーの使用量削減.回収効率向上活動 4. 出口管理の徹底と使用量の多い工程の改善アイテムの発掘 5. 過去事例に学ぶ(管理監督者勉強会を通じて意識喚起)
目標を達成するための取組の進捗状況	1. ~5. ともに第一四半期は計画通り進捗している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・目標に対して達成できているため、第二四半期以降の見直しは必要ないと判断している。 ・但し、環境事故に関しては内部流出の新規事案が数件発生しており再発防止と類似カ所への水平展開により再発抑制に努めている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	・年間計画に基づき、月度毎に測定結果及び届出等の確認を実施している。 今日まで遅延及び違反等、行政当局からの指導・指摘はない。 さらに、法的要求事項の順守状況評価として毎年1回(2月)マネジメントレビューで確認している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・評価・見直しについては、毎年1回(2月)マネジメントレビューとして経営者の見直しを実施している。 ・平成28年度の活動実績は、概ね良好であり、環境マネジメントシステムは定められたとおり適正に運用されていると判断している。 ・平成29年度の中で、ISO14001:2015への移行を終了した。 ・(移行審査:2017.12.18~20受審.登録証:2018.2.8発行)

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。